



シネマ

プラネットプラスワン

プラネットプラスワンは一般的な映画館とは仕組みが違い、個人経営で所蔵していた古い作品を中心に字幕を付けて上映しているシネマである。主に1895～1970年までの映画歴史の中で重要な作品(日本映画以外)を上映しており、映画黄金時代といわれるこの時代の作品の良さを多くの人に発信する為さまざまなこだわりを持って経営している。ここで見られる作品は、今はDVDやビデオで見る事も難しい古い作品が多く、アメリカ映画を中心にヨーロッパ映画までその種類は幅広い。

また個人経営で映画を上映している形態をとるのは日本ではここと神戸のみ。映画の黄金時代、その頃は映像技術も普及しておらず単純で分かりやすく、魅力的なストーリーだけで見る人の心を楽しませていた。現代の若者にもその当時の映画を知り、楽しんでほしいという信念の下で今日も映画を上映し続けるのだ。

映画の黄金時代、ここに再来



映画に対するこだわりと情熱がいっぱい!



通常より狭く収容人数も多くはないがその分ゆったりと映画の世界に没頭して鑑賞することができる。映し出される数々の映画黄金時代の名作の世界に入り込んで見てほしい。



映写室の中を特別の視かせていただいた。多くの機材やフィルムがところ狭くと並べられ、ここでオーナーの富岡さんが日々映画の上映を行う。



プラネットプラスワンオーナーの富岡さんは、映画について多くのこだわりと情熱を持っておられて、今の若者にも黄金時代の素晴らしい映画を知ってほしいという思いから上映を行っている。



<http://www.planetplusone.com/>